

グローバル人材育成事業報告書

参加したプログラム		済州国際青少年フォーラム		訪問国		韓国	
校内発表会の有無		有	(有の場合)	日にち	12/9	(対象)	全コース
学校名	静岡サレジオ高等学校		氏名	香川有沙		学年	2

1 目的・応募理由

今回私が参加した済州国際青少年フォーラムでは29の地域から様々な背景を持った人々とともに生活をして意見を発信し合う場です。普段とは大きく異なり会話は英語で行う必要がある環境下に身を置くことで授業や課外活動で学んだ英語を実際に活用することができ英語でのコミュニケーション能力を高めていきたいと考えています。グローバル化が進む中で将来、同じような考えを持つ人々とだけ関わっていくことはほとんどなく様々な文化背景を持った人と関わるのが更に増えていくと思います。活動の中でそれぞれの文化に基づいた多様な考えを受け入れ、自分の考えや意見を積極的に発信する経験を積みたいです。自分の意見を相手に聞いてもらうのを待ってもらうのではなく自分から行動を起こしていきたいです。また、日本人としてではなく静岡県民としてこのプログラムに参加し各地域の魅力を知り、そして静岡の魅力を再発見したいです。多文化共生が促進される今、将来さらに多様な背景を持つ人々と関わっていくことを想定して必要になるであろう知識、経験をこのプログラムを通して学びたいと考えています。

2 研修内容等（語学研修等の授業日程、休日の過ごし方、ホストファミリーなど）

1日目

- ・ゲーム（韓国の伝統）
- ・パネルディスカッションメンバーとのオリエンテーション
(common ground)



2日目

- ・開会式
- ・自然散策（gotjawal）
- ・パネルディスカッション（プレゼンテーション準備）
(動画撮影組とプレゼンテーション準備組に分かれる)

3日目

- ・プレゼンテーション準備（動画撮影）
- ・プレゼンテーション
- ・K-pop 教室（aespa の supernova）



4日目

- ・ 済州島めぐり (yeomiji、 seogwipo olle market、 citrus museum)

- ・ 閉会式

- ・ culture night (各地域の伝統芸能の発表)
(ダンス、歌、プレゼンテーション)



1-4 日を通して

- ・ ランダムで組まれた他地域の人とのルームシェア
(台湾出身のルームメイトと 2 人部屋)
- ・ 食事 (基本的にはルームメイトと共に)
- ・ 韓服体験 (右の写真はルームメイトの韓服姿)



3 感想等

このプログラムで世界には様々な人がいて文化を超えて互いを理解し合うことができることを学びました。基本的な言語は英語であったのですが、日本語は多くの国に知られており、日本語で話しかけられることも多かったです。ありがとうやこんにちはといった簡単な言葉であっても一つでも相手が知ってくれているととても嬉しくなり、相手とさらに関わりたいと考えるようになることを痛感しました。そのためには英語を流暢に話せるようになることだけでなく他言語習得にも努めていきたいです。それだけではなく、日本のいただきます、ごちそうさまといった食事に関する文化を知っており、一緒に食事をする際には毎回一緒に言っていました。そのような多文化への理解の深さに感銘を受けました。静岡、日本のことだけでなく幅広い地域に関心を寄せて行く必要があると考えました。また、英語能力の向上のためにより一層、普段の勉強を大切にして日常のコミュニケーション、ディスカッションといったどんな場面であっても思いを伝えられるようにしていきたいです。英語を使う中でイントネーションも大切な要素の一つですが、それよりも自分の意見を文法や単語を駆使して伝えることが重要であるとも考えました。このような貴重な機会を得た経験を活かし、これから更に世界に関心を向け実際に当事者として多文化共生社会を作っていくことをイメージしながら勉強していきたいです。グローバル化に伴い、多文化共生が求められる世の中に変化しつつある中で今回の経験を通して相手のことを理解しよう、知りたいという気持ちがあれば難しいことではないと思いました。常に尊敬の意を持ち、自分の考えを恐れずに自分から発信することを大切にしてこれからも更に様々なバックグラウンドを持つ人々と関わっていききたいと思います。

グローバル人材育成事業報告書

参加したプログラム		済州国際青少年フォーラム		訪問国		韓国	
校内発表会の有無		有	(有の場合)	日にち	12/9	(対象)	全コース
学校名	静岡サレジオ高等学校		氏名	中島敬太		学年	高校一年

1 目的・応募理由

済州国際少年フォーラムでの主な目的は様々な文化の人たちと交流して多文化社会での共存や課題について議論し、多文化に対する考えを深めることです。議論だけではなく他の文化の人と一緒に時間を過ごす中での新しい発見や経験などを得るのも目的の一つです。日本では普通だけど多文化では普通じゃないことや、逆に多文化では普通だけど日本では普通じゃないことを多く学ぶことができると思います。これから日本も多文化社会に近づくと予想されているので今回のフォーラムでこれからの生活に活かせるような知識や経験を得たいと考えています。自分の知識を広めるだけではなく、他の地域からの人たちに日本や静岡県について色々共有し、魅力を伝えられたらと思っています。フォーラムでのほとんどの人とは母国語が違うので英語で上手にコミュニケーションをして、トラブルがない楽しい5日間にしたいです。

2 研修内容等（語学研修等の授業日程、休日の過ごし方、ホストファミリーなど）

1日目は韓国の伝統的なゲームをしたり、参加者のみんなと関わることができたフリータイムもありました。ルームメイトにも紹介され、自己紹介などを行いました。

2日目と3日目では自分のトピック（多文化社会で共存するための活動計画）について自分と他の17人の多文化からの高校生とディスカッションをし、他のグループの人々に自分たちのディスカッションで考えた内容を発表しました。発表はプレゼンテーションだけではなく、動画や歌など様々な方法で発表しているグループがありました。山登りやシトラスミュージアムにも行きました。



最後の日には各市（国）の文化や伝統的なものを紹介し合うカルチャーナイトがありました。歌やダンス、お菓子や飲み物を使っ

て多くの文化について学ぶことができました。済州で人気のある市場に行って買い物をたくさんしました。

3 感想等

初めて韓国に行けて日本では経験できないものをたくさん経験できてフォーラムに参加できてよかったと思えました。フォーラムではたくさんの友達ができいろんな人たちと話すことができました。部屋には中国からの人とカンボジアからの人がいて、最初は少しコミュニケーションが大変でしたが5日間三人で平和で楽しい時間を過ごせてとても良かったです。トピックについての発表もステージでの発表に慣れない中で大変さはありませんでしたが、国籍を超えて議論しあい、作成したムービーは会場でもとても良い評価をもらえ自身にとってもチームにとっても良い総括となりました。ディスカッション中はみんなが一生懸命で、担当の先生も優しく、アイデアをたくさんくれて助けてくれました。プレゼンテーションだけではなく、カルチャーナイトやカルチャーツアーなどの様々なアクティビティーもあったため、グループ以外の人たちともたくさん交流することができ、たわいもない日常の会話からもたくさんの学びを得ることができました。今回のフォーラムでは多文化について考えを深めたり、新たな知識を得ることもできましたが、衣食住を共にすることでそれ以外の生活面などでも成長できたと思っています。新しいことや人に自ら挑戦する、話しかけてみるなどと今までは自分からではなく相手任せになっていたところがもっと積極的に自分から進んでできるようになった気がします。また、他の国の人たちと話していたときに「こんにちは」や「かわいい」、「いただきます」などちょっとした日本語をで話してきた人たちもいて嬉しく感じました。なかには日本語を勉強しているという人もいて、自分も日本語と英語だけではなくいろんな言語を話せるようになったらコミュニケーションも楽になるし多文化の人とのつながりも深められるのではないかと感じました。学んだことや経験したことを将来に活かし、今度このようなフォーラムがあった際には積極的に参加したいと思いました。



グローバル人材育成事業報告書

参加したプログラム		済州国際青少年フォーラム		訪問国		韓国	
校内発表会の有無		有	(有の場合)	日にち	12/9	(対象)	全コース
学校名	静岡サレジオ高等学校		氏名	仁木悠人		学年	高校1年

1 目的・応募理由

このチェジュで行われた国際青少年フォーラムでは主に2つの目的を持って参加しました。

1つ目では国際フォーラムに参加した29もの多種多様な文化を持った国、そしてその国の人々とそれぞれの考え、価値観、意見を共有し協議することで新たな視点から世界の問題、特に私は目まぐるしく変化する国際社会の間で起こる争いについて様々な立場、環境、思想、考え方をもち同年代と話し合うことでそれぞれの共通を見つけ合いそれに沿った誰にも不利益の与えない解決策を見つけ出すことで平和に付いて考えることに重きをおいて考えました。また2つ目にそれぞれの共通言語である英語を通しコミュニケーションを行うことでそれぞれの理解し、そのうえで英語の技能を伸ばすこと。



2 研修内容等（語学研修等の授業日程、休日の過ごし方、ホストファミリーなど）

我々はこのたび、県の済州国際青少年フォーラムに参加し様々な経験をしてまいりました。初日は各国の方々と話すアイスブレイキング、他の地域から来た日本人や同じパネルの生徒と親睦を深めました。また同じパネルの人と私の場合は中国の武漢から来た人がルームメイトとなり、その後の約1週間をともに過ごしました。言語の通じない初対面の人との一週間は自分にとって新しい経験になりました。

2日目からは本格的に議題である紛争解決や、平和という言葉自体の定義、争う理由などについて話し合い、それぞれの価値観や意見を交換しました。他にも韓国の森林の中を散歩し自然

環境について学びました。

3 日目は話し合いをより発展させ、結論を導き出し、スライドを作り発表しました。

4 日目は済州の各地を周り視察をしました。植物園や地域の特産品であるみかんについての施設、繁華街にも足を運び、様々な韓国式の露店や韓国食、韓国スイーツを体験しました。その後閉会式へ移り表彰や修了証書授与を受けました。ほかにもカルチャーナイトという各国の伝統発表会を視聴し多くの国の伝統や食文化、踊りや習慣などを学び、最終日 5 日目に日本に帰国しました。

3 感想等

同年代の中でも最年少だった私はフォーラム開始直後は少し不安で言語の壁や年の差自分の英語の能力が周りよりも劣っていることを感じました。しかし、そんなことを気にしないで関わってくれる多くの人々に助けられ、同じ日本人や日系人の多いハワイの人々は特に私のことを気にかけてくれました。他にも少ししか喋れない英語で話しかけてくれる韓国人や様々な国の人々の暖かさを感じ改めて国と国とを超えた助け合いを体験しました。その結果このフォーラムで多くの友人を作ることができ、日本のサブカルチャーについてや友人たちの食文化や生活様式、その国での現在の流行についてなど様々な話をすることができました。コミュニケーションが難しい中でも話しお互いを思いやるということは現在の日本でも同じことで、帰国後、静岡県で多くの外国人労働者が多い中で当人やその子どもが言語の壁を感じるという話を聞いたとき私は済州での自分と重ね合わせて、そのような人たちの助けになりたいとより思うようになりました。

また、私はこのフォーラムを通して海外の特に東南アジアの人々と多く関わったことを一番新鮮に感じました。中東オマーンや、北欧フィンランド、カナダ、ハワイの人々も多く、たくさんの考え、立場、言語、価値観が飛び交う会となりました。現地の高校生のおもてなしや町や観光地への視察も、日本とは距離的にはとても近い地域でありながらも様々な国家としての文化の違いを改めて感じました。また在済州日本国総領事館の武田総領事に静岡とチェジュの農業に関するつながりを教えていただいたお話は特に印象に残りました。静岡のみかんやお茶がこの島の農業の発展に大きく影響したことには驚かされました。

このような特別な会に参加させていただいて本当にありがとうございました。



グローバル人材育成事業報告書

参加したプログラム		済州国際青少年フォーラム		訪問国		韓国	
校内発表会の有無		有	(有の場合)	日にち	12/9	(対象)	全コース
学校名	静岡サレジオ高等学校		氏名	山崎稀菜		学年	2年

1 目的・応募理由

私が済州国際青少年フォーラムに参加した目的は2つあります。

1つ目は、物事に対する考え方や視点を変化させることです。同じトピックに対して異なる環境で生まれ育った人々と様々な意見を持ち寄り、ディスカッションを行うということは自分自身が今まで考えたことがないようなアイデアや視点を生み出すことができるだろうと考えました。さらに、異なる文化に触れることによって自分が知らなかった国のことを知ることのできる自分の視野が広がることにつながるのではないかと考えました。

2つ目は語学力の向上です。このフォーラムではディスカッション以外の生活でも英語を使用して5日間過ごします。「自分が思っていることを英語で伝える」ということは日常生活で実践する機会が少ないため学んでいる英語を活かす良い機会だと考えました。



2 研修内容等（語学研修等の授業日程、休日の過ごし方、ホストファミリーなど）

パネルディスカッションと済州島の文化を知るためのアクティビティで構成されていました。

1日目：パネル内での自己紹介・ゲーム

2日目：開会式、カルチャーツアー（森林公園）、パネルディスカッション

3日目：パネルディスカッション、プレゼンテーション、K-popを学ぶ

4日目：カルチャーツアー（博物館、市場、植物園）、閉会式、カルチャーナイト

5日目：帰国

【開会式】

様々な方のスピーチを聞き、このフォーラムでどのようなことを学ぶのか、大切にすべきことは何なのかなどを教えてくださいました。

【カルチャーツアー】

ディスカッションをするグループと共に英語会話をしながら様々な場所を巡り、済州島の歴史や生活文化を学ぶことができました。

【パネルディスカッション・プレゼンテーション】

私は「プラスチックの使用を減らし、持続可能な消費パターンを開発するための行動」というトピックのディスカッションに参加しました。自分たちが書いたエッセイをもとに、どのような発表をしたら楽しんでもらえるかなどを考えプレゼンテーションを行いました。

【カルチャーナイト】

私達は、法被を着て清水港まつりで披露される「かっぽれエイサー」を披露しました。様々な国の文化や伝統、ダンスや歌などを知ることができとても興味深かったです。

【部屋での生活】

私はベトナム出身の子と中国出身の子の2人のルームメイトと同じ部屋でした。初日は全員とても静かで何を話せばいいのか分からず最低限の日常会話のみでしたが、日が経つにつれてお互いの文化について紹介し合ったり一日を振り返ってどうだったかなど様々な会話が生まれるようになりました。

3 感想等

はじめは自分の思っていることがしっかりと伝わるのか、自分を受け入れてくれるのかなど様々な心配や不安があり自分から話し出すことができませんでした。しかし、話しかけてくれる友達や話を引き出してくれる友達が多く、心配や不安はすぐになりました。自分の意見を英語で言うということはとても難しいことでしたが、伝わったときや賛同してくれたときはとても嬉しかったです。もちろん自分の英語力が足りず悔しい思いをすることやもどかしさを感じる場面もたくさんありましたが、それが原動力となりこれからもっと英語を勉強して様々な国の人ともっと話したいという強い気持ちも生まれました。また、このフォーラムで学んだこと、考えたことを実現するために自分自身の行動をもう一度見直し、これから生活していきたいとも思います。このような貴重な機会をいただき、自分自身を成長させることができたと感じると同時にまだまだ伸ばすことができる部分もあるのだと再認識することができました。

